

K-Report

2018年 6月 1日発行
第 8 卷 第 6 号

《発行者》 協同組合 愛知労務協会
富田謙社会保険労務士事務所 所長 富田 謙
■住所
〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須四丁目11番39号 川本ビル4階
TEL 052-261-2611 URL <http://www.tomiken.org>
FAX 052-261-2612



目次

1. 改正情報
2. 労務管理の基礎知識
3. 所長コラム

1. 改正情報

■ 36協定未届事業場に対する相談指導

働き方改革の中で『36協定』の重要性が高まっています。しかし現実には36協定の締結・届出ができていない企業が少なからずあるというのが実情です。また、労働基準監督署にもその指導を徹底するだけの十分な体制が無いという実態もあり、それを改善するため、今年度は36協定未届事業場に対する相談指導事業が民間に委託されることとなりました。

【今後の相談指導の流れ】

- ① 労働条件自主点検表及び自主点検結果報告書の送付と自主点検結果報告書の回収
⇒ 返信期限を過ぎ、1週間以上経過してもなお回収されていない事業場については、電話および書面による督促が行われます。
- ② 回収した自主点検結果報告書の分析
⇒ 回収した自主点検結果報告書は、項目ごとに事業場単位で集計・データ化し、労働基準法等の適合有無について分析が行われます。また、返送のない事業場等のデータ化や、労働局が指定する項目について労働基準法等に適合するか否かの分析、労働基準法等に適合しないと認められる事業場のリストが作成されます。
- ③ 集团的または個別的な相談指導の必要な事業場の選別と相談指導の実施
⇒ 自主点検結果報告書において相談指導を希望する事業場、自主点検結果報告書の提出がなかった事業場及び②により分析された結果、労働基準法等に適合しない事業場について、集团的な相談指導が実施されます。この集团的な相談指導に参加しなかった事業場については、電話等で連絡をとり、同意が得られた場合には個別訪問による相談指導が実施されます。
- ④ 労働局監督課への相談指導実施状況等の報告
- ⑤ 労働局監督課への事業終了の報告

36協定（時間外労働・休日労働に関する協定）とは、法律で定められた労働時間を超えて労働者を働かせることができるようにするために、過半数労働組合（過半数労働組合がない場合は、労働者の代表）と会社との間で締結される協定のことです。
協定は事業所毎に締結・届出ます。

この事業で行われる相談指導はあくまでも事業主の同意が前提となりますが、自主点検結果報告書の提出のない事業場や労働基準法等に適合しないと認められる事業場を優先的に相談指導の対象とするとされていますので、自主点検表が届いた際には、確実に提出し、また36協定の締結・届出が行われていないのであれば、早急に対応した方がよいでしょう。

2. 労務管理の基礎知識

■ 女性社員のルール ②妊産婦の保護 I ～妊産婦の就業制限～

妊産婦（妊娠中の女性及び産後1年を経過しない女性）については、母体と胎児の保護のため、医学的見地から、危険有害業務の就業制限等特別の保護をすることが求められています。

【1】妊産婦の就業制限業務（主なもの）

- ・ 重量物を取り扱う業務
- ・ ボイラー（小型除く）の取り扱い業務
- ・ クレーン・デリック等の玉掛の業務（2人以上で行う業務の補助作業は除く）
- ・ 動力により駆動されるプレス機械、シャー等を用いて行う金属加工の業務
- ・ 足場の組立、解体又は変更の業務（地上又は床上における補助作業は除く）
- ・ 有害物を発散する場所において行われる作業に従事する労働者の呼吸用保護具を使用させる必要のある業務等
- ・ 多量の高熱又は低温物体を取り扱う業務
- ・ 著しく暑熱又は寒冷な場所における業務
- ・ さく岩機、鉋打機等身体に著しい振動を与える機械器具を用いて行う業務

など

【2】軽易業務への転換

妊娠中の女性が請求した場合には、他の軽易な業務に転換させなければなりません。（※1）

（※1）

転換すべき適当な業務がない場合に、新たに軽易な業務を創設して与えるまでの必要はありません。

3. 所長コラム

■ 映画「孤狼の血」



東映が放つ久々のやくざ映画「孤狼の血」原作：柚月裕子、監督：白石和彌。警察・バイオレンス小説と言えば僕の中では、「破門」で直木賞を受賞の黒川博之、「隠蔽捜査」で山本周五郎賞を受賞の今野敏なので、映画ができるまで柚月裕子さんの小説は読んだことがなかった。それではと映画を見る前に読んでみると、女性が書いた警察・バイオレンス小説とは思えないほどハード（現実には女性の方がハードなことは承知している）

白井和彌監督と言えば「凶悪」、「日本で一番悪い奴ら」などバイオレンス映画を得意としている鬼才。大好きなサッカー観戦を取りやめいざ映画館へ！んー、残念。いえいえこの映画自体悪くはないのです。作家自身「仁義なき戦い」や「県警対組織暴力」をリスペクトして原作を書いたと公言されています。深作欣二監督VS白石和彌監督、笠原和夫脚本VS池上純哉脚本（任侠ヘルパー）、菅原文太VS役所広司で比較してしまう。力量の差だけではなく若い俳優さんのギラギラしたエネルギーを感じられないのは僕だけだろうか・・・。